

別資料⑥

○3号機水素爆発時の映像

映像処理後 (60コマ/秒)
0秒*

水素爆発(前駆爆発)による
原子炉建屋の変形後、
原子炉建屋南東部の屋根に
発生した火炎(水素を含む可
燃性ガスによるもの)

*映像処理前に火炎が最初に確認された
時点を0秒としている。

水素以外の
可燃性ガスの
寄与の可能性

映像処理後 (60コマ/秒)
1秒

原子炉建屋中央天井部から
火炎を取り込みつつ噴煙が
上昇、破片を吹き上げ

本資料の画像は、東京電力福島第一原子力発電所
における事故の分析のために、原子力規制委員会
が株式会社福島中央テレビ及び日本アドベ放送網
等から提供を受けたものです。
本資料に掲載の画像を引用などで使用される場合
は、福島中央テレビ及び日本アドベの著作権クリエイティブ
を必ず記載し、また、原子力規制委員会の資料から
の引用であることを明記する必要があります。

20

上図：2011年3月14日11時、3号機建屋水素爆発プルームの汚染地色炎周辺に青紫色炎が見える超解像映像
下図：2011年3月14日11時、3号機建屋水素爆発プルームの噴煙を高く噴き上げている従来映像

注：2020年11月12日の日本テレビニュースにより、3号機の超解像映像が放映された。それによると建屋爆発直後に中心部がオレンジ色（セシウムが酸化して二酸化セシウムになるときオレンジ色を出す）から周囲が青紫色（に変化している炎が出ていた。炎周囲の青紫色は二酸化テルルの青緑色に二酸化セシウムのオレンジが混合してできていたと想定される。（出典：原子力規制委員会資料より）